

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティホーム改修事業				会計	款	項目	大専	小専
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課				
施策	2-6	市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進		主管課長	樋口 洋徳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	コミュニティホームを利用する市民等	意図	コミュニティホームを利用する市民等が良好な活動をすることができる。
事業内容	老朽化したコミュニティホームを補修し、地域住民の活動拠点としてのコミュニティホームの機能を維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和46年に旧自治省によるモデルコミュニティ地区に指定され、コミュニティホームが設置された。45年以上経過し、施設の老朽化が著しいことから、修繕対応を行っている。対策委員会との協議により、第2コミュニティホームは建替えることとなり、平成30年度に建替え工事を予定している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	修繕回数	4	7	5	回	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,492,040	1,316,248	4,627,976
事業費(b)(円)	986,040	629,748	3,285,576
うち一般財源	986,040	629,748	3,285,576
職員給与と費(c)(円)	1,506,000	686,500	1,342,400
人役・職員(人)	0.20	0.10	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・予算の範囲内において優先順位をつけて対応している。
・平成29年度は、冷暖房機、雨漏り、屋根、浄化槽用モーター等の修繕を行ったほか、第2コミュニティホーム建替えに係る設計（委託）を行った。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	八木南地区コミュニティホーム対策委員会との協議結果に基づき、第2コミュニティホームの基本設計について同委員会と協議する。	③取組の課題	第2コミュニティホームの建替え工事を行うとともに、第1コミュニティホーム廃止に向けた手続きを進める。
②今年度(H29)に実施した取組	八木南地区コミュニティホーム対策委員会との協議結果に基づき、第2コミュニティホームの基本設計について同委員会と協議し、基本設計がまとまった。	④今後(H30以降)の改善計画	土地区画整理事業の進捗状況を勘案しつつ、第3コミュニティホームのあり方について、引き続き八木南地区コミュニティホームと協議する。